

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="http://www.ferrotec.co.jp/">http://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード

### ・株主に関する住所変更などのお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

## 年間IRカレンダー

第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期			第1 四半期		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1四半期開示	第2四半期決算		第2四半期決算発表 第2四半期決算説明会			第3四半期開示	本決算		決算発表 決算説明会	株主総会	

# FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4  
日本橋プラザビル5階  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



森林に配慮して適切に管理された  
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを  
使用しています。

# 第37期 第2四半期決算報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日  
証券コード：6890



FerroTec  
株式会社 フェローテック

## 株主の皆さまへ



代表取締役社長  
**山村 章**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第37期第2四半期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、スマートフォンやタブレット端末用メモリーなど電子部品需要は堅調に推移し、半導体業界での設備稼働率は高い状況が続きました。これにより当社グループのマテリアル製品4種も好調に推移しました。これら需要拡大に対応するため、韓国にCVD-SiCの生産拠点の新設も実行中でございます。

自動車産業では北米と中国市場での販売が好調であり、自動車温調シート向けサーモモジュールも計画の通りとなりました。太陽電池産業については、COP21パリ協定の採択後、太陽電池パネルの普及が新興国へも広がり、当社の太陽電池用シリコンなどの需要が旺盛となり収益が改善しました。

また、業容拡大のために国内企業のM&Aを実行しており、本年7月より連結子会社といたしました。後述に当該会社をご案内しております。

今後の成長路線へのステップの一環であると、ご理解賜りたいと存じます。

当社グループは、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに努めております。また、今期から中間配当を実施しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

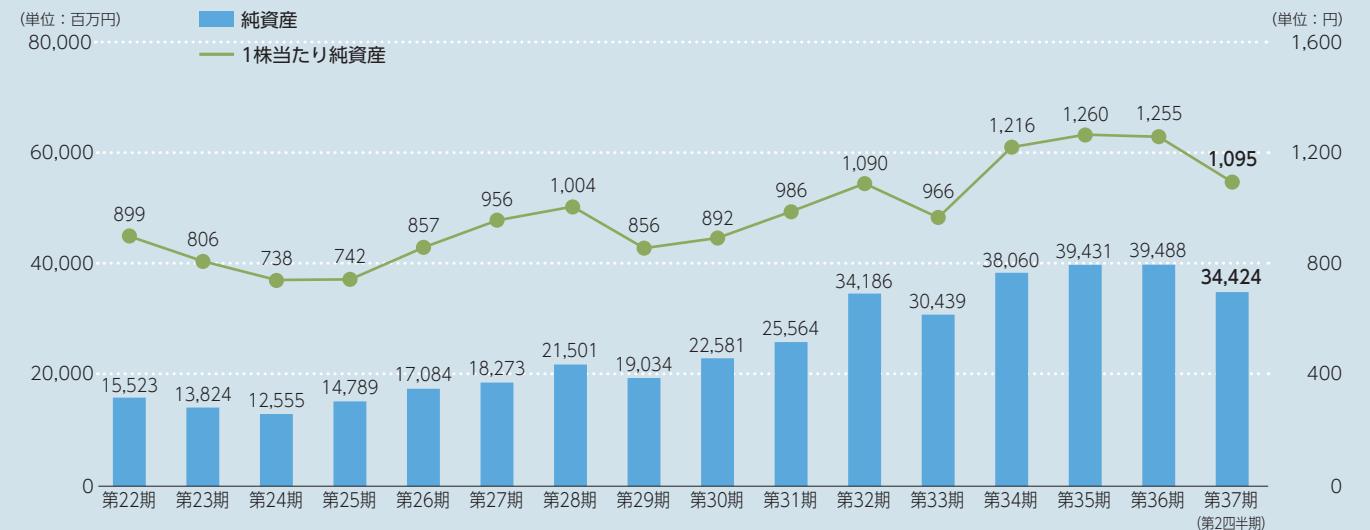
平成28年12月吉日

## 財務ハイライト

### 売上高／経常利益



### 純資産／1株当たり純資産



# 主力5製品の分野別 アプリケーション・マトリックス

当社の主力5製品を利用して開発された  
身近にある製品を分野別にご紹介します。

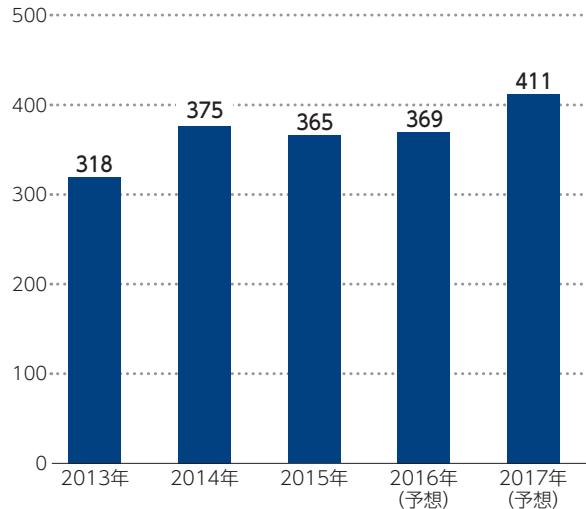
		自動車産業分野	エレクトロニクス産業分野	家電民生品分野	医療分野
<b>真空シール</b>	装置関連 (半導体、FPD、LEDなど)	スマホ パソコン画面	スマホ パソコン画面	液晶テレビ	CTスキャン MRI
<b>石英</b>	装置関連 (半導体、FPD、LEDなど)	フラッシュメモリ CPU・LED	フラッシュメモリ CPU・LED	液晶テレビ	
<b>セラミックス</b>	装置関連 (半導体、FPD、LEDなど)	フラッシュメモリ CPU・LED	フラッシュメモリ CPU・LED		外科用内視鏡 医療用超音波エコー装置
<b>サーモモジュール</b>	電子デバイス (自動車、半導体、家電民生、医療、光通信など)	温調シート ナビゲーションシステム カップホルダー 電力制御パワー半導体 (DCB基板)	冷却チラー 光通信 発電	エアコン 空気清浄機 ワインセラー 美顔器 シェイバー	血液分析装置 DNA増幅器 生態試料検査装置
<b>磁性流体</b>	電子デバイス (自動車、家電民生、医療など)	カーオーディオ		オーディオ TVスピーカー	バイオメディカル用 磁性ナノ粒子

# 半導体関連 マテリアル製品の 今後の戦略

- メモリー系3D-NAND投資、およびロジック系細線化投資の流れに乗り、当面半導体製造装置における治具・消耗材の需要が旺盛
- 製造装置メーカー、半導体メーカーの動向を注視し、当社のマテリアル製品である石英、セラミックス、CVD-SiCの生産能力増強、売上伸長に取り組む

## 半導体製造装置市場

(単位:億ドル)



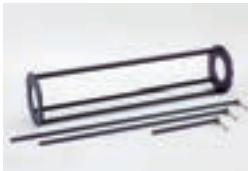
当社のマテリアル製品



石英



セラミックス



シリコン・パーツ



CVD-SiC

## 石英(含むシリコンパーツ)

売上高 (単位:百万円)



POINT

- ▶ 2018年3月期以降、杭州(中国)にて、2割程度の能力増強を予定
- ▶ 3D-NAND投資により、真空加工プロセス向け石英消耗品増加
- ▶ 細線化プロセス増加を受け、高熱炉処理によるシリコン消耗品増加



石英



シリコン・パーツ

## セラミックス

売上高 (単位:百万円)



POINT

- ▶ 2018年3月期以降、杭州(中国)新工場にて、2~3割程度の能力増強を予定
- ▶ 細線化、3D-NAND投資による半導体前工程向け新規消耗材増加
- ▶ ウェーハ回路検査治具の次世代高精度基板増加



セラミックス

## CVD-SiC

売上高 (単位:百万円)



**POINT**

- ▶ 現在の岡山工場に加え、2018年3月期以降、唐津(韓国)新工場にてCVD炉の増設を予定
- ▶ 細線化プロセス増加を受け、高熱処理が不可欠に。この為、耐熱性、耐摩耗性に長け、コンタミフリーのSiC消耗材の需要が増加



CVD-SiC

### CVD-SiC韓国新工場

Ferrotec Advanced Materials Korea 着工式の様子 (2016年9月)



アジアでの製造拠点戦略「CHINA プラス ワン」を展開



工場完成予想図(次年度稼働予定)

# フェローテックの アジア販売戦略

フェローテックマレーシアを新設

- 当社のアジア販売拠点は台湾、韓国、シンガポールに加え、本年よりマレーシアを新設し、4拠点体制で展開(マレーシア・タイ市場開拓も強化)
- 半導体、フラットパネル、医療、通信、民生などの重要市場を深掘し、中期的な売上伸長を図る。当エリアでの戦略製品はマテリアル製品、真空シール、冷熱素子(サーモモジュール)など

### アジア販売拠点マップ



### 戦略製品



**製品**

シリコンパーツ  
半導体製造装置向け



**製品**

真空シール  
半導体製造装置・  
有機EL製造装置向け



**製品**

サーモモジュール  
半導体製造装置・  
医療・通信・民生向け

## 2016年7月からフェローテックグループに仲間入りした (株)アサヒ製作所のご紹介 **ASAHI**

### 会社概要

(株)アサヒ製作所は昭和8年に東京都中野区で設立した創業83年を越える老舗の業務用クリーニング機器の製造メーカーです。現在は神奈川県足柄上郡中井町に本社および製造工場を有し、国内はもとより、国外クリーニング施設へのトータルプランニングも行う業界でも有数の企業です。



神奈川県の本社・湘南工場

### ▶ 今後の事業展開とフェローテックとのシナジーについて

#### 市場

当社の売上は日本国内がその大半を占めますが、今後中国や新興国における病院・ホテルなどのリネンサプライ市場成長拡大が見込める為、グローバルな製造・販売体制の整備を進めています。

#### 製造

フェローテックには、上海にインゴット製造装置など大型装置の専門工場が有り、その経営資源を活用し、(株)アサヒ製作所のクリーニング製造装置の現地生産対応を準備中です。

#### 販売

販売体制は国内は北海道から九州まで、(株)アサヒ製作所の販売ネットワークを活用。中国・アジアについてはフェローテックの中国・韓国・台湾・シンガポール・マレーシア各販売会社で拡販を担います。

#### 経営

フェローテック製品のメイン市場となる半導体、フラットパネル、太陽電池などの各市場と比較し、リネンサプライ市場はその変動性が大きくない事から、よりディフェンシブな市場と言えます。この為、今回の買収はフェローテックの将来的な経営基盤の安定化がその狙いの1つです。

### ▶ 主力製品「連続洗濯機」のご紹介

アサヒリモートモニタリングシステム (ARMS) を採用した連続洗濯機



#### 当社連続洗濯機の特長

- インターネット回線でお客様(工場)と(株)アサヒ製作所を結び、機械異常をWEBカメラなどでリアルタイムに把握できる独自の「ARMS」を採用
- 水の回収タンクが無い世界最高の衛生レベル
- クリーニング機器単品販売のみならず、工場のトータルプランニングを提案し、顧客の生産性向上を実現(国内外市場で統合提案強化)



■ その他の製品ラインアップ 全自動洗濯脱水機、全自動乾燥機、ロール機など

### ▶ 産業用クリーニング機器の主な納入先【機器単品、およびトータルプランニング提案】

 クリーニング業

 リネンサプライ

 官公庁

 一般企業

 病院寝具

 ホテル旅館

 その他  
(レジャー施設など)



## セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「装置関連事業」「電子デバイス事業」及び「太陽電池関連事業」の3事業を報告セグメントとしております。

	第36期 第2四半期(内周)	第37期 第2四半期(外周)
装置関連事業	46.1%	42.6%
電子デバイス事業	19.2%	16.3%
太陽電池関連事業	26.0%	28.3%
その他	8.7%	12.8%

### 装置関連事業

売上高 **160**億円 営業利益 **19**億円

石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC製品など半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用NAND型フラッシュメモリやデータセンターなどに利用されるSSDと称される記憶媒体などの製造用途に需要が安定しており、デバイスメーカーの設備稼働率が高水準であったため堅調に推移しました。需要拡大を受けてセラミックスとCVD-SiC製品は新たな生産工場を建築中です。一方、各種製造装置の機能部品である真空シールは、半導体や液晶・有機ELパネルの製造設備用途の需要も増えております。



セラミックス製品



真空シール

### 電子デバイス事業

売上高 **61**億円 営業利益 **12**億円

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国・中国市場での自動車販売が堅調に推移したため、概ね計画線の売上で推移しました。一方、民生・家電分野や中国における通信機器用途ならびに医療検査装置・バイオ関連機器・半導体機器用途は、堅調に推移しました。パワー半導体用基板は、新たな顧客からの認定を得たため、増産体制を進めており受注増加に対応する予定です。磁性流体は、車載用スピーカー用途が堅調に推移しました。



磁性流体



サーモモジュール

### 太陽電池関連事業

売上高 **106**億円 営業利益 **1**億円

太陽電池産業は、COP21パリ協定の採択後、再生エネルギーである太陽光発電が見直されることとなり、インドを中心に新興国での需要が活発化しました。中国ではFIT(固定価格買取制度)の買取価格の減額方針を受け、一時的な駆け込み需要が発生しました。当社のシリコン製品や消耗品と太陽電池セルも概ね計画線で着地しました。当該事業のシリコン単結晶製造装置と消耗品の石英坩堝は、半導体用途へ技術移転を進めており、今後も事業構造改革の継続による収益改善策を進めてまいります。



太陽電池用セル



石英坩堝

## 連結財務諸表(要約)

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年9月30日現在	前期 平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	47,551	45,284
固定資産	34,814	33,484
有形固定資産	27,843	26,044
無形固定資産	2,001	2,062
投資その他の資産	4,970	5,377
資産合計	82,366	78,769
<b>負債の部</b>		
流動負債	29,540	29,351
固定負債	18,400	9,929
負債合計	47,941	39,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,925	30,199
その他の包括利益累計額	2,831	8,484
新株予約権	30	24
非支配株主持分	637	780
純資産合計	34,424	39,488
負債純資産合計	82,366	78,769

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,915	3,596
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,779	△2,316
財務活動による キャッシュ・フロー	3,689	1,164
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1,298	109
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,526	2,554
現金及び現金同等物の 期首残高	10,038	10,517
現金及び現金同等物の 四半期末残高	12,564	13,072

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	37,650	33,615
売上原価	27,556	25,067
売上総利益	10,094	8,548
販売費及び一般管理費	6,717	6,605
営業利益	3,376	1,942
営業外収益	323	415
営業外費用	1,592	469
経常利益	2,107	1,888
特別利益	2	29
特別損失	288	54
税金等調整前四半期純利益	1,821	1,864
法人税等	865	681
四半期純利益	956	1,182
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△77	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,033	1,202

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
四半期純利益	956	1,182
その他の包括利益	△5,720	506
その他有価証券評価差額金	36	△116
為替換算調整勘定	△5,705	618
退職給付に係る調整額	6	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	2
四半期包括利益	△4,764	1,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,619	1,698
非支配株主に係る四半期包括利益	△144	△8

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。  
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

